富士河口湖町立
教育センターだより
No.１１
令和３年１０月１３日
文責　古屋ひとみ

生徒主体の学園祭

勝山中学校　河口湖北中学校　河口湖南中学校

勝山中学校　ソーラン節

２ 日間に渡って繰り広げられた町内の中学校の学園祭が終わりました。小学校と同様にできる限りの感染対策を講じての開催となりました。

各校のテーマは，勝山中学校「Break」。河口湖北中学校『「雲外蒼天」～その先の虹に向かって～』。河口湖南中学校「炎天」。テーマ達成に向けて一致団結して，練習に練習を重ねてきた学園祭。

学校ごとにスタイルは違っても必ず実施されてきた伝統の「ソーラン」。実行委員会を立ち上げ，生徒主体で練習。苦しい場面を乗り越えて，やっと迎えた本番。切れのある踊りに張りのある声，迫力の演技を披露した生徒たち。周りからの大きな拍手に達成感を得ることができたことと思います。こうした伝統の取り組みが，次の世代に受け継がれていくことを願っています。

河口湖北中学校　北中ソーラン

河口湖南中学校　　ソーラン節

勝山中学校　全校太鼓

勝山中学校　学年劇　はだしのゲン（３年）

河口湖南中学校　学年劇　グッドバイ　マイ（３年）

河口湖北中学校　学年劇　消えた八月（３年）

文化の部の中心は各学年の発表。それぞれの考えを出し合いながら練り上げ，最後は一つの物を作り上げ，見ごたえのある作品を発表することができました。みんなで作り上げる喜びを実感し，大きく表現力を育むことができた文化の部。

　コロナだからできないのではなく，できる限りの感染対策を講じて，生徒主体で準備，運営された学園祭。やり抜いたという充実感や達成感が生徒の皆さんを大きく成長させ，次につながる原動力になったことと思います。全力で頑張った生徒の皆さん，感動をありがとう。そして，お疲れさまでした。

２学期の木工教室始まる

～ま る で 大 工 さ ん の よ う に～

マイ鉛筆立て完成

小刀で鉛筆づくり

　今学期は３年生の木工も始まりました。３年生は「くぎうちトントン」。「金づちで釘を打つ感触を味わい，いろいろな打ち方を試しながら釘を打ってできる形を見つけ，形などの感じを捉えながら工夫して表す」ことを目標としています。子どもたちは講師の先生方のアドバイスをしっかり聞きながら，まるで大工さんのように釘と金づちを使って自分なりの鉛筆立てを作っていました。最後に小刀を使って鉛筆作りも行い，設計図以上の仕上がりに大喜びの子どもたちでした。

釘打ちトントン